

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### どん底から復活する

- リーマン・ショックから 2 年半、回復基調にあった日本経済は、未曾有の大災害で計り知れないダメージを受けた。だが、敗戦の焦土の中から世界史に類を見ない高度成長を遂げた日本人に、乗り越えられない壁はないはずだ。その突破口になるのは、かつて松下幸之助氏や本田宗一郎氏が見せた強力なオーナー魂である。明治維新も敗戦後も、そしてあの阪神・淡路大震災の時も、いつも世を再び照らしたのは、一人ひとりの経営者の活力だった。
- 阪神・淡路大震災と東日本大震災の大きな違いは、16 年前の震災を乗り越えたという歴然たる事実と、復興への揺るぎない自信を国民が共有していることだ。同じような経験をした人がいる。自分たちの気持ちを心底理解してくれる人がいる。どん底の状態から復活した人がいる。そのことは、東日本大震災の被災者にとって大きな励みになる。
- 企業経営では、今後の復興に生かすには次の 3 点が重要だ。
  - ① 慌てない……業績が落ち込んでも慌ててはいけない、これから起こる得ることを予測し、一つひとつ落ちて着いて策を講じれば必ず希望の光が見える。
  - ② 変化を見極める…今回は原発事故も重なった。アジアへの生産移転や在宅勤務のような働き方に拍車がかかることも考えられる。
  - ③ 気を緩めない……阪神・淡路大震災では、半年後に被災地外の倒産が多発した。

(参考:「日経トップリーダー」2011 年 4 月号)

## 経営者のための経済学

### 今回は要注意・日本国債の格下げ

伊藤 隆敏 (東京大学大学院教授)

- 1 月下旬、スタンダード&プアーズは、日本国債を「AA マイナス」に格下げした。これは中国と同じで、財政問題に揺れるスペインより低く、イタリアより高い。今回の格下げは、日本の特殊要因 (日本国債は 95% を国内の投資家が保有している) を無視した不当に低い評価だ、という声がある。しかし、どうも今回は違うのではないか、という声もある。それには四つの理由がある。
2. 第一に、日本の国債のレベルが、GDP の 2 倍に近づいており、その規模が大きすぎることである。第二は、巨額の国債残高にもかかわらず、財政赤字が拡大していることだ。第三は、増税のメドが立たないことだ。第四は、中長期的に少子高齢化がますます進行し、財政再建が困難になることだ。格付け会社の警告を「オオカミ少年」と揶揄せず、財政再建に向き合うことが大切だ。

(参考:「週刊東洋経済」: 2011 年 2 月 12 日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### スーパーが個人商店を支援

1. 大型スーパーの出店などにより、最寄りの八百屋さん、魚屋さん、肉屋さんが廃業し、生鮮食品の入手が困難になった「買い物弱者」の問題が急浮上している。その多くは車の運転ができない高齢者だ。
2. 山梨県内で総合食品スーパーを展開する㈱やまとは、経営の危機に直面している個人商店を支援する事業を始めた。仕入れ値で食品料を提供し、少量多品種の品ぞろえを手助けする。商店の近隣に住む高齢者ら「買い物弱者」を支援する狙いだ。支援先第 1 号店の「グランディール」は、これまで酒類とパン、菓子を中心に扱ってきたが、同社の助けを得て新たに肉や魚、果物、惣菜、野菜の販売も始めた。(参考:「野村週報」2011 年 3 月 28 日号)

## 古典に学ぶ

### 先着の利を活かせ

「兵勝の術は、密かに敵人の機を察して、速やかにその利に乗じ、復た疾くその不意を撃つ」

(訳)「兵勝の術」とは、戦いに勝つ秘訣という意味ですが、それについて、ここでは三つのことをあげています。第一は、「密に敵人の機を察す」です。気づかれないように相手の動きを察知するというのです、第二は、「速やかにその利に乗ず」です。われに有利と見たら、すかさずにたたみかけていけというのです。第三は、「疾くその不意を撃つ」です。相手が「よもや」と思っているとき、或いは予想もしていない所をえらんで攻撃をかけよ、というのです。

(参考: 守屋 洋「リーダーのための中国古典」: 日経ビジネス人文庫)